

2009年度

科目名	比較文学B		
担当教員	林 進		
配当	文 2・教育2・人間2	コード	54110
開期	後期	講時	金曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	日本文学と西欧文学の比較		
目的と概要	三島由紀夫、トーマス・マン、川端康成、谷崎潤一郎、森鷗外、カフカ等、古今東西の作家の文学作品をテーマ別に比較しながら、あるいは文学と他の芸術・学問分野を比較検討しながら、現代社会における文学の意味と機能を考える。映画ビデオ等も適宜活用しながら解説する。		
成績評価法	学期末のレポートと平常点で評価する。		
テキスト	プリント配布		
参考書	『三島由紀夫とトーマス・マン』林進著/鳥影社、その他授業中に紹介する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
第1回 若さと老いの美学(サド・マゾヒズム文学)——三島由紀夫と谷崎潤一郎『痴人の愛』『鍵』 第2回 仮面の文学——トーマス・マンと三島由紀夫 第3回 超人へのレッスン(ただし悲劇的)——ニーチェと三島由紀夫(1) 第4回 近代日本とドイツ(1) 国家と家と個人——森鷗外『舞姫』(1) 第5回 近代日本とドイツ(2) 国家と家と個人——森鷗外『舞姫』(2) 第6回 病気と文学(1)——トーマス・マン『魔の山』と堀辰雄『風立ちぬ』(1) 第7回 病気と文学(2)——トーマス・マン『魔の山』と堀辰雄『風立ちぬ』(2) 第8回 エロティシズム(1) 絶対的タブーの侵犯——三島由紀夫『春の雪』(1) 第9回 エロティシズム(2) 愛の死——三島由紀夫『春の雪』(2) 第10回 テロリズム(1) 孤独の侵犯——カフカ『審判』と安部公房『友達』 第11回 テロリズム(2) 暗殺(父と子)——三島由紀夫『鹿鳴館』 第12回 変身とシュールリアリズム——カフカ『変身』と安部公房『赤い繭』とダリ『記憶の固執』 第13回 発狂と自刃——ニーチェと三島由紀夫(2) 第14回 二つの死——川端康成と三島由紀夫 第15回 総括			